



平成25年8月6日

報道関係各位

松本大学観光ホスピタリティ学科白戸ゼミナール 「納涼カフェえきにし日和」開催

拝啓 残暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科の白戸研究室では、田川地区を中心とした松本駅西地域の活性化と地域における高齢者や子供たちの交流の促進、買物弱者問題の解決などを目指した「えきにしまちカフェ・プロジェクト」に取り組みます。これは、地域において、様々な人が集い、街を巡り、食や文化を楽しむ拠点として、空間を創造することを目指すものです。

アルプス口周辺地域においては、2004年より市上地区のまちづくりに係ったのを皮切りに「いばらん亭」の開店や景観保全など地域の方々の活動に学生が参画してきました。2010年からは、買物弱者問題をテーマにして、学生によるリヤカーの引き売り「もったいないプロジェクト」を3年にわたり行ってきました。買物弱者問題に長期的視点から取り組むために、本年度はリヤカーの引き売りをいったん休止し、買物弱者対策と地域の中の交流促進のふたつのテーマを掲げ、新たな取り組みを開始しています。具体的には、高齢者や子どもが交流できる「カフェ」事業と野菜などの農産物を提供する場づくりを内容とするプロジェクトを進めております。

そのプロジェクトの体現として、田川地区で行われる青山様・ぼんぼん、そして盆踊りの開催に合わせて、本年度第1回目となる「納涼カフェえきにし日和」を開催いたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、報道関係各社様を通して、地域の皆様に広くご紹介いただきたく、取材方よろしく願いいたします。

敬具

記

日 時：平成25年8月10日(土)

19:00～20:30

場 所：いばらん亭(松本市市上4-18)

内 容：オリジナルメニューの無料提供(たいやきパフェ・オリジナルジュース)

ラテアート体験・キッズコーナー(輪投げ・ストラックアウト)等

※詳細は別紙の案内チラシ参照

その他：なお、プロジェクトの一環として、翌11日朝9時より「いばらん亭」において朝市を行ない、リヤカーを使ってのスイカの引き売りを行ないます。

以上